

令和7年度 大田区立大森第三小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年3月2日

○本校は、教科「おおたの未来づくり」において、東邦大学大森病院と連携した食育を中心に健康教育に取り組んでいる。校内の研究主題は「未来をつくる健康教育」とし、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力や他者や社会の安全に貢献できる資質・能力をもった児童を育てるために全教職員で教育活動を行っている。また、基礎的・基本的な学力の定着を目指し、授業改善を行いながら創意工夫しながら日々の授業を展開しており、年々児童の学力の伸びが見られるようになってきている。学習習慣の定着と授業改善によって、今後もこの傾向を維持していく。また、生活面においては、規範意識や基本的な生活習慣に関して課題が見られる。研究推進委員会、生活指導部を中心に継続的に規範意識、基本的な生活習慣の定着に向けて取り組む。日々、「あいさつができる学校」を目指し、挨拶運動等の取組を進めてきたことで、地域からも認められる成果を得るまでに至っている。今後も「挨拶」「言葉遣い」に力を入れ、家庭・地域との連携を強化し、規範意識の向上・基本的な生活習慣の定着に努める。

○本校の特色として「地域との連携」を挙げることができる。「人との関わり・地域との関わり」と称して、近隣教育施設との連携や、大森町・梅屋敷の二つの商店街や中小の町工場と連携した学習、「スクールサポートおおさん」を中心とした地域人材の活用による授業の展開などをより令和8年からのコミュニティスクール化に向けて準備を進めていく。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組◎ 今後の改善策◆	学校関係者記入欄						
								評価	人数	コメント				
生予個 測別 る困 力難 標を な1 育未 成来 し社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「健康教育を推進し、基本的な生活習慣の確立に努めている。」と保護者アンケートで回答した割合 A+B 96.7%	4: 85% 以上	【健康教育】 ◎各家庭に協力していただく形で健康教育に取り組んでいることもあり、ご理解いただいていると認識している。 ◎教員の意識がさらに高まり、健康教育の定着、教科「おおたの未来づくり」や新たな価値の創造する力の素地育成に向けて、研究を進めることができた。 ◆本校の特色である健康教育のカリキュラムを教員が異動しても継続できるようにすることが今後の最大の課題となる。そのために令和8年度から始まるコミュニティスクール学校運営委員会にも、健康教育を行う学校であるということについて御理解をいただき、学校運営に意見具申していただくことで、持続可能にしていきたい。	A	10	○学校の「健康教育への熱」を毎年強く感じており、また年を追うごとに地に足の着いた取組を歩んでいるのがすごい。東邦大学との地域の利をこどもたちのために活用されているのが大変良い。こどもたちにも大三ならではの学習であることに気付いてもらいたい。 ○健康に対する意識が高まっているように感じる。児童一人一人が知識を得ることから始まり、行動が変わり、さらに興味が湧いて、学習に対する意欲につながっている。 ○健康な身体に健全な精神が宿ると言葉があるように児童がそのように育っていることは、とてもよいことで指導の賜物だ。 ○企業と協力したピザのメニュー考案・販売などこどもたちにとってとてもよい体験だ。				
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3: 75% 以上	B					1			
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 65% 以上							C		
		④校内研究「未来をつくる健康教育」の取組を通して、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	1: 65% 未満									D
お世個 お界別 たと目 標な2 うが る材 国を 際都 成市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「英語力の向上や豊かな国際感覚の育成を図っている。」と保護者アンケートで回答した割合 66.6%		4: 85% 以上	【英語指導】 ◎英語専科体制を組み、オールイングリッシュでの授業を展開し、児童の英語力を向上させている。 ◆英語の授業を公開し、英語指導についての情報発信量を増やすことで、保護者に英語指導に関心をもってもらうよう工夫する。 【人権・生命尊重】 ◎道徳授業地区公開講座や人権作品展などにより保護者に理解していただいた。 ◆「小さな親切運動本部」と協働した新たな取組も高めていく。	A	9				
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「人権や命を大切に育んでいる。」と保護者アンケートで回答した割合 87.5%	3: 75% 以上	B				2			
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 65% 以上	C								
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	1: 65% 未満								D	
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 性 力と能 力 を育 成し 発揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生きる上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	「基礎的な学力が身に付くように指導している。」と保護者アンケートで回答した割合 93.7%			4: 85% 以上	【基礎学力】 ◎多様な会計年度任用職員による支援体制や、教員の指導力向上を目指した校内研究などを通して、丁寧に学習指導することができていると自己評価する。 ◆宿題の出し方やタブレット端末による個別最適化学習等に保護者から意見具申があり、今後そのことも研究検討していく。	A				
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「遊びや運動など、体を動かす機会を確保している。」と保護者アンケートで回答した割合 98%		3: 75% 以上	B			1			
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	2: 65% 以上	C								
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	1: 65% 未満							D		

<p>学個別力・教師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p> <p>④教員が相互に授業参観を行ったり、主任教諭によるOJT研修を行ったりして、授業力を向上させる取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>「ゲストティーチャーや体験活動を取り入れるなど授業を工夫している。」と保護者アンケートで回答した割合87%</p>	<p>4:85%以上</p> <p>3:75%以上</p> <p>2:65%以上</p> <p>1:65%未満</p>	<p>4</p> <p>【ゲストティーチャー】 ◎「プロから学ぶ」ゲストティーチャーの活用は本校の特色ある教育であり、児童の記憶に残る学習機会となっている。 ◆ゲストティーチャーによる授業を積極的に公開し、家庭での話題にしていたことで、児童が学校だけでなく、各家庭でもふりかえりができるような工夫をしていく。また、可能な限り、学校サイトに情報公開する。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>11</p> <p>○学校で様々な体験を通し、それぞれの個性を活かした授業がされている。先生方の日々の努力と創意工夫に頭の下がる思いである。更に一人一人が色々な想いをアウトプットできる環境が整っていくことを楽しみにしている。</p> <p>○特にプロ野球選手による野球教室は子どもたちも楽しそうに体験したことを話してくれ、とてもよい体験だ思う。</p> <p>○児童だけでなく、大人である私たちも能力向上のために、日々切磋琢磨していかなければならないと思う。</p> <p>○先生の横のつながりの強化があるような取組による関係性の向上が更なる学校力につながるのではないかな。</p>
<p>た自個別の学しきと支援しきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p> <p>④全校児童が挨拶チャレンジに参加し、目を見て挨拶をしたり、相手の名前を呼んで挨拶したりできる児童を育成する取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>「いじめや不登校などの問題解決に努めている。」と保護者アンケートで回答した割合56.1%</p> <p>「挨拶ができるように指導している。」と保護者アンケートで回答した割合93.7%</p>	<p>4:85%以上</p> <p>3:75%以上</p> <p>2:65%以上</p> <p>1:65%未満</p>	<p>1</p> <p>4</p> <p>【いじめ・不登校対応】 ◆いじめ・不登校の課題は個人的な情報であるため公表することが困難であり、保護者の回答で「分からない」が32.8%もある。これに加えると88%の肯定意見となる。学校としての取組説明を積極的に行う必要がある。</p> <p>【挨拶指導】 ◎「あいさつキャンペーン」「あいさつマイスター」「小さな親切実行章」など、児童の励みになる取組を行った。 ◆教員には「本校の児童はもっとあいさつできるはずだ」という認識がある。児童の心を耕す指導を工夫することで、あいさつについて抜き出た学校にしている。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>10</p> <p>1</p> <p>○児童一人一人の家庭環境に考慮し、地域と連携し、よりよい学校生活作りにとっても熱心だと思ふ。</p> <p>○トラブルが起きたときの先生のスピード感を感じた。事前に対応できることはコミュニケーションを深めて、先に手を打てるようなつながりを深める取組の必要性は常に感じる。</p> <p>○「立ち止まり、相手の目をみて挨拶する」という指導がとてもよいと思う。</p> <p>○児童館においては、深刻ないじめと見受けられる事案は発生していないが、自分の想いが伝わらないと、手が出たり、特定の相手に対し心ない言葉を発したりする等、懸念事項はある。「心のゆとり」をもって相手を許せる大らかな気持ちを携えてもらえることを期待している。</p> <p>○個人情報法の観点から、児童の私生活に立ち入ることは難しいし、いじめや不登校の児童のおかれている現状を知ることには困難である。苦しんでいる彼らに救いの手を差し伸べたい。</p>
<p>安柔個別の学しきと安全・安心</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>③避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p> <p>④タブレット端末を有効利用し、児童が考えたり表現したりする力を向上させるための取組を進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>「安全で過ごしやすい学習環境を整備している。」と保護者アンケートで回答した割合90.5%</p> <p>「タブレット端末を活用し、思考力や表現力を育てている。」と保護者アンケートで回答した割合81.6%</p>	<p>4:85%以上</p> <p>3:75%以上</p> <p>2:65%以上</p> <p>1:65%未満</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>【安全な学習環境】 ◎用務主事の献身的な働きが大きく、校内の安全性が維持されている。PTAや地域の方による校外の見守りも大きな力となっている。 ◆校舎の老朽化は否めないため、全教職員の安全点検意識はさらに高めていく。また、児童目線で危険回避できるように安全教育を工夫する。 【タブレット端末活用】 ◎今年度は、これまで以上にタブレット端末を積極的に活用しようという教員の意識向上があった。 ◆何をもってタブレット端末での思考力向上を判断するのか分かりにくいため、次年度は評価項目の検討をする。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>11</p> <p>○用務主事さんが学校の維持に加え、子どもたちによく声をかけてくださるので子どもたちの安心安全につながっている。用務主事さんの存在が大ききと感じた。さらに力を借りながらよりよい環境をPTAと連携しながら作り上げたい。</p> <p>○用務主事さん方がいつも校内外の整備や清掃等されているのを目にする。帰り際などでも頻りに声をかけてくれている。子どもたちの避難や安全への意識も概ね高く、日頃の学校での訓練の賜物だと感じる。</p> <p>○児童は思いもよらぬ行動をとるものだ。児童を危険から守るため、あらゆるケースを想定し児童の安心、安全を守ってほしい。</p>
<p>学地域個別の学しきと協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p> <p>④大森町・梅屋敷の二つの商店街や町工場と連携して、児童が地域住民や地域施設と関わり、地域のよさを理解、尊重する授業を実施している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>「地域の人や施設と関わり、地域を大切にしている。」と保護者アンケートで回答した割合89.6%</p> <p>「ホームページやお便りで児童の様子などを分かりやすく伝えている。」と保護者アンケートで回答した割合90.6%</p>	<p>4:85%以上</p> <p>3:75%以上</p> <p>2:65%以上</p> <p>1:65%未満</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>【地域連携】 ◎PTAも教職員も地域愛の意識が高く、地域の方の学校愛も強く、児童の健全育成に確実に繋がっている。 ◆コミュニティスクール化により、さらなる地域連携の改善に結び付けていく。</p> <p>【情報公開】 ◎学校サイトの情報発信量は、比較的新い方だと認識している。新保護者連絡システムである「tetoru」を積極的に活用し好評を得ている。 ◆学校サイトに関してヘビーユーザーと思われる保護者の方から、情報発信量が減ったと指摘があったように、確かに発信力は弱まっている。しっかり自覚して改善していきたい。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>11</p> <p>○地域に愛される学校として根付いている。</p> <p>○地域での様々な活動を行い、非常に良い関係だと感じている。</p> <p>○大三小のホームページが大変見やすく、かつ充実しているのを目を引いてしまう。また、自治会や民生児童委員の方々の結びつきも強くPTA～学校～地域がシームレスにつながっているのは本当に素晴らしい。</p> <p>○大森西五丁目周辺はひとり暮らしの高齢の方々が多く住んでいる。長い人生を生き、たくさん経験をおもちの方から、町の歴史や昔の生活等をきく機会をもっとよい。</p> <p>○100周年をきっかけにして、さらにつながりを深めてくれた。これからは地域にある学校が情報やつながりのハブになり、みんなに愛される学校作り、まちづくりを共にしていきたい。</p>